

少子高齢化・共生社会に関する調査会

委員一覧 (25名)

会長	田名部 匡省 (民主)	岡崎 トミ子 (民主)	岸 信夫 (自民)
理事	島田 智哉子 (民主)	工藤 堅太郎 (民主)	中村 博彦 (自民)
理事	下田 敦子 (民主)	白 眞勲 (民主)	中山 恭子 (自民)
理事	友近 聡朗 (民主)	松岡 徹 (民主)	義家 弘介 (自民)
理事	南野 知恵子 (自民)	松野 信夫 (民主)	浮島 とも子 (公明)
理事	丸川 珠代 (自民)	水岡 俊一 (民主)	紙 智子 (共産)
理事	鱒淵 洋子 (公明)	石井 みどり (自民)	瀬上 貞雄 (社民)
	家西 悟 (民主)	岡田 広 (自民)	
	尾立 源幸 (民主)	荻原 健司 (自民)	(22. 2. 10 現在)

(1) 活動概観

〔調査の経過〕

第168回国会の平成19年10月5日に設置された本調査会は、「コミュニティの再生」を調査テーマに設定し、1年目は「外国人との共生」、2年目は「地域コミュニティの再生」について調査を行った。

調査の最終年である今国会においては、第173回国会に引き続き「少子高齢化とコミュニティの役割」を調査事項として取り上げ、「少子化が経済・社会、地域コミュニティに与える影響」、「コミュニティの担い手、活動の継続についての課題」、「育児・介護の社会化によるコミュニティの維持」、「子どもと高齢者の安心・安全なまちづくり、貧困と格差」について調査を行った。また、本調査会における3年間の調査を踏まえ「コミュニティの再生」及び「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の現状と課題」についても調査を行った。

平成22年2月10日、少子化が経済・社会、地域コミュニティに与える影響について、白梅学園大学学長・白梅学園短期大学学長汐見稔幸君、株式会社ニッセイ

基礎研究所主任研究員土堤内昭雄君及び株式会社ベネッセコーポレーション執行役員成島由美君を、2月17日、コミュニティの担い手、活動の継続についての課題について、関西学院大学人間福祉学部教授牧里每治君、島根県海士町長山内道雄君、和歌山県古座川町長武田丈夫君及び三鷹市長清原慶子君を、2月24日、育児・介護の社会化によるコミュニティの維持について、特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパン代表理事・特定非営利活動法人プレーパークせたがや理事長西郷泰之君、特定非営利活動法人フローレンス代表理事駒崎弘樹君及び介護情報館／有料老人ホーム・シニア住宅情報館館長中村寿美子君を、4月7日、子どもと高齢者の安心・安全なまちづくり、貧困と格差について、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授大西隆君、NPO法人高齢社会をよくする女性の会副理事長・ノンフィクション作家沖藤典子君及びNPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事・反貧困ネットワーク副代表赤石千衣子君を参考人として招き、そ

れぞれ意見を聴取した後、質疑を行った。さらに、4月14日、コミュニティの再生及び配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の現状と課題について、福島国務大臣に対し質疑を行った。

4月21日には、これまでの政府からの説明聴取や参考人からの意見聴取等を踏まえ、少子高齢化とコミュニティの役割について、報告書の取りまとめに向けて調査会委員の意見表明及び討議を行った。

以上の調査をもとに、調査会長及び理事等の協議により「少子高齢化とコミュニティの役割についての提言」を含む報告案を取りまとめたが、調査会においてこれを議決するに至らなかった。

なお、少子高齢化・共生社会に関する実情調査のため、第173回国会閉会後の平成21年12月10日及び11日の2日間、岩手県及び青森県に委員派遣を行った。

〔調査の概要〕

2月10日の調査会では、参考人から、子育て中の母親が祝福されていると実感できる社会づくりが求められる、単身世帯比率が上昇することから家族機能を代替する社会的制度に加えこれを補完するコミュニティ機能の強化が必要である、企業において出産・育児を担う女性を活用するためには余裕ある人事政策が重要であり、そのための超過コストを投資ととらえる発想が必要である等の意見が述べられた。その後、参考人に対し、①諸外国における就学前教育重視及び無償化の流れ、②職業生活、家庭生活、地域生活のバランスの取り方、③中小企業においても女性活用を可能にするために病児

保育等社会的インフラを整備する必要性等について質疑を行った。

2月17日の調査会では、参考人から、人びとの社会貢献への欲求を顕在化させ、具体的活動へとつなげていくためにはこれを支援する有給職員が必要である、地域経営は企業経営と同じであり、自ら切りひらく志を持つ人材を育成することが重要である、高齢化が進む過疎地域においては、産業振興による安定した収入の確保、子育て環境の整備、U・Iターン者受入れのための施設整備を含む定住対策等が必要である、少子高齢化の急速な進展の中、地域で共に生き、共に支え合う「新たな共助の仕組みづくり」が求められる等の意見が述べられた。その後、参考人に対し、①新しい社会づくりに当たっての中間支援組織の役割、②「平成の大合併」の地域コミュニティへの影響、③地域活性化のために地域資源を活用した商品を開発し販路に乗せる重要性、④転入出が多く流動性の高い地域における住民がコミュニティの担い手となる工夫等について質疑を行った。

2月24日の調査会では、参考人から、子育て経験者が乳幼児のいる家庭を定期的に訪問し傾聴するホームスタートは「届ける」支援という新しい形態の活動である、待機児童解消及び病児・病後児保育拡大のための新たな仕組みづくりが必要である、介護サービスについて講習会の開催、専門的知識を有する職員の行政窓口への常駐等が必要である等の意見が述べられた。その後、参考人に対し、①ホームスタート利用促進のための関係機関との連携、②公益を担うNPOの活動促進

のために寄附金控除制度において税額控除方式を採用する必要性、③単身高齢者の増加と貧困への対応策等について質疑を行った。

4月7日の調査会では、参考人から、公益的な事業を自ら実践することにより社会的貢献を果たす「知恵の実践による参加」を支援する仕組みが重要となる、都市計画を策定する際には、その中核として介護施設や高齢者住宅を位置付けることが必要である、一人親家庭における経済的な貧困は、時間の貧困、教育の貧困及び健康の貧困を引き起こしている等の意見が述べられた。その後、参考人に対し、①公益的活動における官と民のバランス、②介護に関し、施設やボランティア団体、給食サービス提供団体等の地域資源をつなげるコーディネーターの必要性、③生育歴や家庭環境の不利を払拭するための支援の必要性等について質疑

を行った。

4月14日の調査会では、①男女共同参画及びワーク・ライフ・バランスの実現と少子化対策を一体的に進める重要性、②DV法について緊急保護命令制度創設及び保護命令対象者拡大を検討する必要性、③市町村のDV相談支援センター設置及び基本計画策定等自治体間における取組の格差を是正する必要性等について質疑を行った。

4月21日の調査会では、①ひとり社会の進展と介護・育児の社会化、②子どもに優しい社会、安心して子育てができる社会の構築、③新旧住民の融和による新たなコミュニティの創造、④寺社・幼稚園を核としたコミュニティづくり、⑤NPOに対する支援、⑥ホームスタート活動普及促進、⑦スポーツを通じた地域振興等の意見が述べられた。

(2) 調査会経過

○平成22年2月10日(水) (第1回)

- 少子高齢化・共生社会に関する調査のため必要に応じ参考人の出席を求めることを決定した。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 派遣委員から報告を聴いた。
- 「コミュニティの再生」のうち、少子高齢化とコミュニティの役割(少子化が経済・社会、地域コミュニティに与える影響)について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

白梅学園大学学長
白梅学園短期大学学長 汐見稔幸君
株式会社ニッセイ基礎研究所主任研究員
土境内昭雄君
株式会社ベネッセコーポレーション執行役

員 成島由美君

[質疑者]

島田智哉子君(民主)、丸川珠代君(自民)、
浮島とも子君(公明)、紙智子君(共産)、
淵上貞雄君(社民)、水岡俊一君(民主)、
石井みどり君(自民)、尾立源幸君(民主)

○平成22年2月17日(水) (第2回)

- 「コミュニティの再生」のうち、少子高齢化とコミュニティの役割(コミュニティの担い手、活動の継続についての課題)について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

関西学院大学人間福祉学部教授 牧里毎治君
島根県海士町長 山内道雄君
和歌山県古座川町長 武田丈夫君

三鷹市長 清原慶子君

[質疑者]

友近聡朗君（民主）、義家弘介君（自民）、
鰐淵洋子君（公明）、紙智子君（共産）、
藤谷光信君（民主）、松岡徹君（民主）、
丸川珠代君（自民）、下田敦子君（民主）

○平成22年2月24日(水) (第3回)

○「コミュニティの再生」のうち、少子高齢化
とコミュニティの役割（育児・介護の社会化
によるコミュニティの維持）について次の参
考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質
疑を行った。

[参考人]

特定非営利活動法人ホームスタート・ジャ
パン代表理事

特定非営利活動法人プレーパークせたがや
理事長 西郷泰之君

特定非営利活動法人フローレンス代表理事
駒崎弘樹君

介護情報館／有料老人ホーム・シニア住宅
情報館館長 中村寿美子君

[質疑者]

岡崎トミ子君（民主）、丸川珠代君（自民）、
鰐淵洋子君（公明）、紙智子君（共産）、
家西悟君（民主）、牧山ひろえ君（民主）、
下田敦子君（民主）

○平成22年4月7日(水) (第4回)

○「コミュニティの再生」のうち、少子高齢化
とコミュニティの役割（子どもと高齢者の安
心・安全なまちづくり、貧困と格差）につい
て次の参考人から意見を聴いた後、各参考人
に対し質疑を行った。

[参考人]

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻
教授 大西隆君

NPO法人高齢社会をよくする女性の会副
理事長

ノンフィクション作家 沖藤典子君

NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ
理事

反貧困ネットワーク副代表 赤石千衣子君

[質疑者]

友近聡朗君（民主）、丸川珠代君（自民）、
鰐淵洋子君（公明）、紙智子君（共産）、
岡崎トミ子君（民主）、牧山ひろえ君（民
主）

○平成22年4月14日(水) (第5回)

○コミュニティの再生並びに配偶者からの暴力
の防止及び被害者の保護に関する法律の現状
と課題について福島国務大臣に対し質疑を
行った。

[質疑者]

島田智哉子君（民主）、南野知恵子君（自
民）、鰐淵洋子君（公明）、紙智子君（共産）、
家西悟君（民主）、岡田広君（自民）

○平成22年4月21日(水) (第6回)

○「コミュニティの再生」のうち、少子高齢化
とコミュニティの役割について意見の交換を
行った。

委員派遣

○平成21年12月10日(木)、11日(金)

○少子高齢化・共生社会に関する実情調査

[派遣地]

岩手県、青森県

[派遣委員]

田名部匡省君（民主）、島田智哉子君（民
主）、下田敦子君（民主）、南野知恵子君（自
民）、丸川珠代君（自民）、鰐淵洋子君（公
明）、松下新平君（自民）、紙智子君（共産）